

「やさしい日本語」でも配信 あやせ安全・安心メール

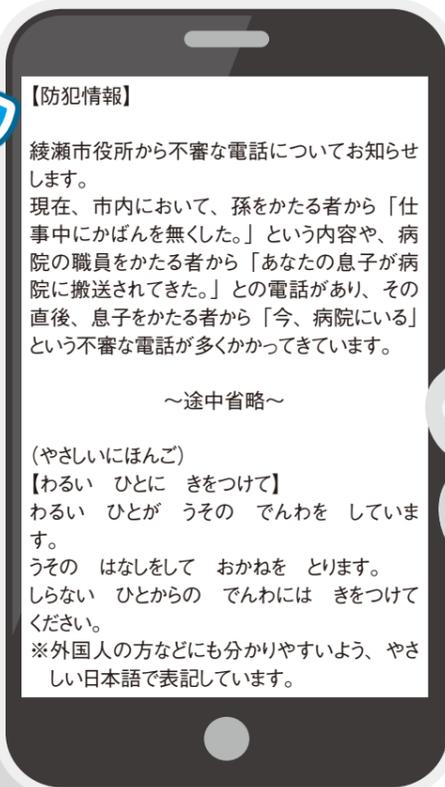
多くの外国人の方が暮らす本市では、言葉の壁による外国人市民への情報格差を少しでも減らし、外国人市民にとっても住みやすく働きやすい、多文化共生のまちづくりを進めるため、災害や防犯などの情報を配信するあやせ安全・安心メールで、「やさしい日本語」の併記を開始しました。

「やさしい日本語」とは、あいまいな表現や過剰な敬語を抑えるなど、通常使用している日本語よりも簡単で、外国人や小さな子どもにも分かりやすい日本語のことです。

同メールもひらがなを使用し、短文にするなど、工夫して配信しています。

登録は、MAIL ayase@mpx.wagmap.jp(二次元バーコードから読み取り可)に空メールを送信し、返信されるメールから行うことができます。ぜひ、登録してください。

☎市民協働課 ☎70・5687
※登録は無料ですが、配信登録・解除、メール送受信にかかる通信料などは登録者の負担です



【防犯情報】
綾瀬市役所から不審な電話についてお知らせします。
現在、市内において、孫をかたる者から「仕事中にかばんを無くした。」という内容や、病院の職員をかたる者から「あなたの息子が病院に搬送されてきた。」との電話があり、その直後、息をかたる者から「今、病院にいる」という不審な電話が多かかってきています。
～途中省略～
(やさしいほんご)
【わるい ひとに きをつけて】
わるい ひとが うその でんわを しています。
うその はなしをして おかねを とります。
しらない ひとからの でんわには きをつけてください。
※外国人の方などにも分かりやすいよう、やさしい日本語で表記しています。

※文面はイメージです



自治会活動に参加しませんか

どんな活動をしているの？

- 地域の安全安心を守る
防犯パトロールや通学路での見守り活動など、安全で安心して暮らせるまちづくりに努めています。
- 住みよい環境を作る
地域内の美化活動など、誰もが住みよい環境づくりに努めています。
- 災害に備える
災害発生時、自助による災害への備えはもちろんですが、日頃から隣近所の連携を深めておくことが大切です。自治会を中心とした自主防災組織による訓練や資機材の備蓄により、万が一に備えています。自助に加え、共助というセーフティネットが広がります。
- 親睦を深める
運動会や盆踊りなどのレクリエーション活動で、地域の連帯感を高めるよう努めています。

- 広報活動で情報共有
自治会広報紙の作成をはじめ、回覧板や掲示板でさまざまな情報を地域に提供することで、住民相互で情報を共有し、快適な日常生活を送れるよう努めています。
- 行政とのパイプ役
地域の皆さんからの要望を行政へ、行政からのお知らせを地域の皆さんへ伝えていきます。
- 集会施設の管理・運営
自治会館をはじめとした集会施設の管理・運営を行っています。自治会員を中心に地域の方が集まって、交流を深めることができます。

これら以外にも、日本赤十字社の会費や社会福祉協議会の住民会費・共同募金への協力などを通じて、地域福祉・社会奉仕活動に貢献しているほか、民生委員児童委員や地元の各種団体(地区社会福祉協議会、青少年育成団体など)と連携しながら、地域生活のさまざまな場面で活躍しています。



自治会がなくなったら？

一方で、自分には関係ない、困らない、メリットがないなど、さまざまな理由により自治会加入に消極的な方も少なくありません。
一部の人が加入していなくても大きな変化はないかもしれませんが、多くの人が加入しなくなり、自治会活動が行えなくなった時、地域の暮らしはどうなってしまうのでしょうか。
身近なところでは、地域の祭り、児童登下校時の安全、町内の衛生環境、犯罪率、要支援者への支援など、さまざまな部分で影響が出てくる可能性があります。

自治会に加入しませんか

市では、昭和40年代から、おおむね現在の形の自治会組織が着々と活動を重ねてきました。
今の暮らしを、そして今より住みよい暮らしを、子や孫、将来の自分が享受し続けるために、自治会に加入して活動に参加してみませんか。
できる範囲で、できることから始めましょう。

自治会に加入するには
 ↓
 住んでいる地域の区長が自治会長へ
 ↓
 自治会・区長・会長が分からない
 ↓
 市民協働課へ問い合わせください



要介護度改善事業所 を認証しました

認定マーク

ケアセンター caren かれん
 名前の由来でもある、Care(介護)、Rehabilitation(リハビリ)、Nursing(看護)の3職種が、共同でQOL(生活の質)の向上をサポートする、リハビリに特化したデイサービスです。
 プログラムには理学療法士やマッサージ師(セラピスト)による個別の施術から自主トレーニングまで幅広く取り入れ、ADL(最低限必要な日常生活動作)維持や認知症予防、復職を目標とする方まで多くのニーズに応えられるよう工夫してサービスを提供しています。
 能力向上の機能訓練にはセラピスト施術のほか、市内で唯一の導入実績であるリハトレーナーを活用し、動作内容をパーセンテージ表示することで運動の質を「見える化」しています。

デイケアセンターエポック
 今年、開設20年目に入ります。「エポック」とは「特に新しく画期的な時代」という意味です。開設当時、市内では午前・午後の短時間のデイサービスは珍しく、他のデイサービスとは違う特色を生かした、機能訓練を重視した内容でのサービス提供を行い現在に至っています。
 「楽しくリハビリ!」という施設のコンセプトの基、一人一人が満足できるデイサービスを心掛けています。今回、2回目の認証についてはこうした揺るぎない信念のもと、スタッフが一丸となってサービスに努めていることが評価をされた要因であると思えます。

介護老人保健施設メイプル
 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハビリ専門職や看護師、介護福祉士などがチームとなって利用者に合わせてサービスを提供しています。集団で行う体操やリハビリ要素を取り入れた少人数のレクリエーションのほか、音楽療法を楽しみにしている方も多く、言葉が出にくい方でも歌になると声を出して歌う方もいます。
 クラブ活動として生け花、書道を行っているほか、毎月の行事やボランティアによる行事を楽しみにしている方が多いことも特徴です。

市内介護保険事業所の要介護度改善に係る取り組みを評価し、優良事業者を認証する制度を平成29年度から実施しています。これは、評価対象期間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)の間に、要介護度が維持・改善した利用者の比率を評価するもので、今年度の認証事業所は次のとおりです。

- ▶ケアセンター caren かれん (通所介護)
- ▶デイケアセンターエポック (地域密着型通所介護)
- ▶介護老人保健施設メイプル (通所リハビリテーション)

認証事業所は、PR用ののぼり旗を設置し、掲出物などで認証マークを使用することができます。

各事業所の取り組みなどは表のとおりです。市ホームページにも詳細を掲載しているので、ご覧ください。

☎高齢介護課 ☎70・5636